



太鼓の力を、社会の力へ。

KODŌ

公益財団法人 鼓童文化財団
年次報告・計画書 2025-2026

ご挨拶

公益財団法人 鼓童文化財団
理事長 五十嵐 実



日頃より公益財団法人 鼓童文化財団 の活動に深いご理解と温かなご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年度は、佐渡での定期公演や宿根木公演、アース・セレブレーションをはじめとする諸事業を通じ、多くの皆様に芸能の持つ力と響きをお届けすることができました。地域との交流事業も着実に積み重ねられ、佐渡という土地に根ざした芸能文化の価値を改めて実感する一年となりました。

一方で、財団を取り巻く経営環境は依然として厳しく、持続可能な運営体制の構築がこれまで以上に求められております。そのため今年度は研修生の新規受け入れを見送り、財団の基盤を整え、次の時代に向けた準備を進める一年としております。2027年度の募集はまもなく再開されます。新たな体制のもとで、未来につながる人材育成の歩みを再び確かなものにしてまいります。

鼓童文化財団は、鼓童グループの人材育成、地域文化の振興、国際交流、そして芸能文化の継承という大切な役割を担っています。芸能とは、人と人、人と自然、そして未来をつなぐ営みであり、その根底には、より美しい世界へ向かおうとする美への意志があると感じています。

これからも芸能の火を絶やすことなく、次代へ誠実につないでまいります。今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2026年 5月

五十嵐 実 (いからしみのる) プロフィール

税理士、日本自然環境専門学校校長、障がい者就労施設「あおぞら」副理事長、(一社)五頭自然学校理事長。
人間の能力を引き出し、社会をより良く変革していきたいとの思いから、「組織開発」「マインドフルネス」の指導・普及に取り組む。



2月、2年次スタート。修了式を終え、7名で過ごす冬期間。



自分たちで育てた稲を収穫。新米に思わず顔がほころぶ。



多くの人手が必要な時は、鼓童メンバーも農作業に加わる。

鼓童文化財団研修所

2025年の報告と2026年の計画 ～そして未来へ

鼓童代表、鼓童文化財団理事
鼓童文化財団研修所 船橋 裕一郎



2025年、研修所は大きな転換期となりました。カリキュラムの見直しにとどまらず、社会や自然環境の変化、スタッフの労務体制の見直しを進める中で、40年続けてきた研修生の募集を一時休止する決断をいたしました。

その中で私たちは、あらためて「何のために学び、何を育てる場なのか」を問い直す一年を過ごしました。太鼓・唄・笛・踊り、身体基礎や発声、茶道や能といった実技に加え、共同生活や農作業、地域との関わりを通して、「くらす・まなぶ・つくる」を一体として捉える研修のあり方を、今なお模索し続けています。

また、メンバーが稽古以外の作業や生活面にも関わりながら、鼓童グループ全体で育てていく体制への見直しを進めています。負担の偏りに配慮しつつ、多くのメンバーが研修所に関わることで、それぞれが原点を見つめ直す機会ともなり、その経験が舞台表現の充実へとつながっていくことを願っています。

さらに、季節ごとのまとまった日数の休暇の導入も大きな変化でした。(休暇を利用し徒歩で佐渡を一周、途絶えた祭りの調査研究、親の職場見学や体験、楽器製作の工房見学など)、従来の密度の高い研修に加え、個々が主体的に考え、外の世界と接続する時間を設けることで、より広い視野から自らの表現や生き方を見つめ直す契機が生まれています。こうした取り組みは、日々の研修の質を高める好循環にもつながっています。今後は職業体験等の機会も取り入れ、社会との接点を持ちながら学びを深める仕組みづくりも進めてまいります。

加えて、施設整備や地域行事・共同作業への参加、防災拠点としての役割の検討を進めるとともに、そのための修繕・改修計画にも取り組んでいます。研修所が「閉じた修練の場」ではなく、「地域と共にある場」であることを広く知っていただき、より開かれた、地域に根差した場へと発展させていきます。

2026年は、この流れを着実に前へ進める年と位置づけています。研修内容の精度を高めると同時に、指導体制の充実、受け入れ環境の整備を進め、規模感を見定めながらも質の高い学びを実現していきます。また、外部への発信や交流機会を広げ、研修生一人ひとりが社会の中で自らの役割を実感できる場を育てていきます。こうした取り組みの積み重ねが、研修生個々の成長にとどまらず、鼓童グループの表現の深化へとつながっていくものと考えています。舞台に向けた稽古の充実と、地域・社会との接点の両立こそが、これからの研修所の核となります。

そして未来へ。本年、研修生の募集を再開いたします。研修所は、鼓童の舞台に立つことを志す者にとっての基盤であり、表現を深めていく場でもあります。同時に人が育ち、関係が育ち、文化が更新されていくこの場での営みを大切にして、地域や世界へとつながっていく。その循環を絶やさぬよう、一步一步、確かな歩みを重ねてまいります。

これらの取り組みは私たちだけで成し得るものではありません。多くのご支援者、行政、企業の皆様のお力添えをいただきながら、活動をさらに広げ、佐渡に根ざした持続的な文化の創造へとつなげてまいります。今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



2027年度(45期) 新研修生募集

1年目は、太鼓、踊り、唄などの学びを通して、表現のための土台づくり。
2年目は、「鼓童佐渡宿根木公演」や「島内の中学校交流公演」などの実地研修が加わり、実践的な力を養います。
研修修了後、選考を経て鼓童準メンバーに採用。その後鼓童の公演活動に参加し、正式メンバーへの採用が決まります。
今年も、鼓童メンバーを目指す人に加えて、「太鼓を通して社会に貢献する目標を持つ人」を受け入れます。
(鼓童メンバー養成コースと同じ研修内容、1年次のみ)

応募締切 9月30日(水)

詳細は鼓童サイト内「鼓童文化財団研修所について」のページをご覧ください。



2025年度トピックス

修学旅行の太鼓体験プログラムの見直し

たたこ館では、2025年から修学旅行向けプログラムの大幅な変更に取り組みました。体験時間は90分から70分にコンパクト化した一方、鼓童の舞台メンバーも参加し講師を2名体制に。間近でプロの演奏を全身で感じていただける鑑賞時間を増やし、またサポート体制を強化するなど、新たな付加価値の創出を図りました。



海外からの太鼓合宿、体験の受け入れ

ニューヨークと札幌の非営利団体が共同で実施する、国際的な教育・交流事業「Taiko for Peace」。アメリカの高校生の佐渡滞在の受け入れや、佐渡の高校生との交流のアレンジなどを担当しました。このような、太鼓が媒介になって世界の人たちが佐渡で繋がる国際交流の機会が、年々増えてきています。



広がる「エクサドン」の輪

2025年は、春の①「ファシリテーター資格更新会」から始まり、②北米での太鼓カンファレンスやインテンシブ・ワークショップ、③群馬県での合宿型講習会など、エクサドンを知りたい、学びたいという参加者の皆さんと一緒に太鼓を叩き、共に考え、意見を交わす機会をたくさんいただきました。また④「PD(パーキンソン病)のためのニューロダンスと太鼓のコラボセッション」では、島外から来られた患者様とご家族、帯同された専門家の先生方、そして佐渡島内の患者様も含め、総勢30名を超える皆様をたたこ館で受け入れ、2泊3日の佐渡旅のビッグイベントは、参加者全員が踊りに興じ、満面の笑顔で終えることができました。佐渡島内の活動としては、佐渡総合病院精神科のリハビリ施設「デイケアこすもす」の利用者様と帯同スタッフ様にも来館いただきました。



詳しくは、エクサドンWebサイト内の「新着情報」をぜひご覧ください。



鼓童の会交流イベントを開催

12月、文京シビックセンターで会員限定の交流イベントを行いました。平田裕貴と小川蓮菜のリードで、EC2025のゲスト「el tempo (エル・テンポ)」直伝のハンドサインを皆さんに体験いただくなど、あっという間の1時間でした。



決算

貸借対照表 2025年12月31日現在		(単位:円)
I 資産の部		
流動資産	現金および預金	16,425,544
	売掛金	13,125
	未収金	4,259,003
	前払金	24,000
	立替金	49,508
	仮払金	50,000
	流動資産合計	20,821,180
固定資産	基本財産	35,370,000
	土地	1,333,334
	太鼓	50,000,000
	投資有価証券	86,703,334
	基本財産合計	
	特定資産	20,006,195
	第四北越(特定)	212,124
	大光銀行2(特定)	10,000,000
	投資有価証券(特定)	22,351,940
	建物(特定)	1
	備品(特定)	
	特定資産合計	52,570,260
	その他の固定資産	60,000
	土地	6,479,610
	建物	514,910
	車輜運搬具	1,638,356
	什器備品	6,399,386
	建物附属設備	420,000
	ソフトウェア	15,512,262
	その他の固定資産合計	
固定資産合計		154,785,856
資産合計		175,607,036
II 負債の部		
流動負債	未払金	3,976,417
	仮受金	30,129
	未払消費税等	1,574,600
	流動負債合計	5,581,146
固定負債	長期借入金	39,409,000
負債合計		44,990,146
III 正味財産の部		
指定正味財産	指定正味財産合計	87,940,260
	(うち基本財産への充当額)	35,370,000
一般正味財産	一般正味財産合計	42,676,630
	正味財産合計	130,616,890
	負債及び正味財産合計	175,607,036

正味財産増減計算書 2025年1月1日から2025年12月31日まで			(単位:円)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	1. 基本財産運用益	1,500,000	
	2. 特定資産運用益	127,158	
	3. 受取会費	0	
	4. 事業収益	74,222,942	
	5. 受取補助金等	3,941,040	
	6. 鼓童の会収入	10,567,000	
	7. 受取寄付金	16,899,178	
	8. 雑収益	1,929,960	
	経常収益計	109,187,278	
(2) 経常費用	1. 事業費	72,497,367	
	2. 管理費	29,419,651	
	経常費用計	101,917,018	
	当期経常増減額	7,270,260	
2. 経常外増減の部			
	経常外収益計	210,242	
	経常外費用計	1	
	当期経常外増減額	210,241	
	税引前一般正味財産増減額	7,480,501	
	一般正味財産増減額	7,480,501	
	一般正味財産期首残高	35,196,129	
	一般正味財産期末残高	42,676,630	
II 指定正味財産増減の部			
	一般正味財産への振替額	3,641,040	
	当期指定正味財産増減額	-3,635,159	
	指定正味財産期首残高	91,575,419	
	指定正味財産期末残高	87,940,260	
III 正味財産期末残高			130,616,890

ご支援いただいた皆様

(2025年1月1日～12月31日 / 敬称略) ※総額で10口(1万円以上)のご寄付をいただき、希望された方のみご名義を掲載しています。

ご寄付 総額 16,899,178円

- ワン・アース・ツアー支援(462,817円) 10口 中村泰輔 / 10口未満及び匿名希望の方の合計 452,817円
- 一般寄付(計13,333,500円) マンスリー: 36口 石黒裕康 / 24口 伊藤正依 / 12口 東 英子
 アニュアル: 50口 中野育正 / 10口 Gloth Alexandra, Suraya Omar, Tarasenko Petro, 平井泰彦
 10,000口 堀口智顕 / 1,000口 島崎 信、株式会社浜田屋 / 200口 Denise Tange / 100口 matthew benett /
 10口 NPO法人フォーエヴァー、小沢信正、風間信二、新川忠臣、(有)ワタナベ測量設計 / 10口未満及び匿名希望の方の合計 826,500円
- 研修生育成支援(1,307,201円) マンスリー: 60口 藤本暢之 / 36口 小澤宏之 / 12口 野口 忍、亀山 剛、kon / 11口 平野伸明
 アニュアル: 50口 手嶋 理 75口 Patrick Navin / 50口 多々良 彰 / 30口 荻野 慶、野口理奈 / 20口 山口香世子 / 10口 滝澤洋二、鈴木利行、饗輪永世、
 河内秀夫、橋本圭子、高山立子、細谷慎也、小川日登美、南村芳寛、藤藤慶治 / 10口未満及び匿名希望の方の合計 829,201円
- 永年賛助会(4名1,200,000円) 下田雅子、匿名希望3名
- リサイクル募金きしゃぼん(研修生の稽古用のパチ材購入支援): 65名より 110,468円
- やまいもくん募金(たたこ館の原木太鼓修繕へのご支援)10口未満及び匿名希望と募金箱の合計 485,192円

■インカインド(物によるご支援)

農機具やロッカー(平嶋有希子)ほか、2025年も多くの皆様より様々なお心遣いをいただきました。ありがとうございます。

■「鼓童の会」会員の皆様 (2025年1月1日～12月31日)

2025年に会費を受領した方[法人:6団体、個人:1165名] / 会費受領総額 10,567,000円
 法人特別支援会(年会費10万円): 株式会社コスミックコーポレーション、匿名希望2団体
 法人支援会(年会費5万円): 株式会社エス・ケイリース、中央イベントリース株式会社、株式会社DI Palette
 特別支援会(年会費10万円): 会田基博、有友雄一、石田順子、西倉仁美&英明 ほか 計12名
 支援会(年会費5万円): 稲垣昭生、内倉ジョン、原 雅理、松田友一、松村美代、森下修次、吉川峰子、Virile ほか 計11名
 / 後援会(年会費12,000円・入会金1,000円): 315名 / 友の会(年会費4,000円・入会金1,000円): 815名 / 永年賛助会(30万円・賛助会からの移行): 下田雅子ほか3名
 ※上記のほかに、(株)北前船が管轄する賛助会(定員350名 / 賛助会費30万円)の会員情報を管理。

2026年の活動計画

2026年、鼓童は創立45周年を迎えました。次の50年・100年に向けて歩み続けるためにも、グループ法人の連携をさらに深めるとともに、未来を見据えた研修所改革、たたこ館の設備整備・事業強化、そして鼓童の会・支援者のネットワーク拡大に向け、グループ一体で取り組んでまいります。鼓童と社会、地域、そして世界をつなぐ公益活動を一層力強く展開する1年にしたいと考えています。

1 人づくり（研修および体験学習を通じた担い手の育成）

(1) 「太鼓芸能集団 鼓童メンバー養成」コース

● 二年次（44期）2月～1月 7名（人数は2026年4月30日現在）

研修制度開始40年目を迎えた2025年は新規研修生の募集を休止したため、本年は二年次の研修生のみ1年間となる。

長期休暇を含むカリキュラムの見直し、受入人数、拠点の検討ならびに施設整備等、様々な視点から改革を進め、5月より2027年度の研修生募集を再開する。



2年次スタート！

2 地域おこし（地域資源を利用した地域活性化）

(1) たたこ館（佐渡太鼓体験交流館）の運営

本年も教育旅行において、鼓童メンバーがたたこ館の講師とともに太鼓体験に加わり、引き続き満足度の向上に繋げる。ホールにエアコンを導入、また、多目的トイレにベビーチェアやおむつ交換台を新設。お客様に安心して利用いただける環境づくりを図る。（3月に設置完了）

たたこ館ウェブサイト：tatakokan.jp



(2) 深浦学舎の運営

「Taiko for Peace」の合宿のほか、クルーズ船の太鼓体験や演奏等の受け入れなどインバウンドに寄与する拠点としても活用。地域住民の災害時の避難場所としての機能の見直しを行う。

(3) 「鼓童 佐渡宿根木公演」、「鼓童 夏・秋の公演」、「出張！たたこ館まつり」

株式会社北前船との共同開催により、佐渡観光の活性化の一翼を担う。

- ・「鼓童 佐渡宿根木公演」 5月2日～6日（全10公演）
- ・「佐渡両津 鼓童 夏の公演」 7月18日～26日（各週末・全10公演）
- ・「佐渡小木 鼓童 秋の公演」 10月10日～18日（各週末・全10公演）
- ・「出張！たたこ館まつり」 12月6日（アミューズメント佐渡）



「鼓童 佐渡宿根木公演」

(4) 佐渡の地域振興に資する各種団体の事務局運営や活動のサポートおよび中間支援

- ・ 小木湊まちなみの輪
- ・ 佐渡国しま海道
- ・ 美佐渡会（みさとかい）
- ・ 鬼太鼓の森づくり協議会
- ・ 一般社団法人佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会
- ・ 佐渡 FOREST BASE(SFB)事業研究会

3 芸術文化の振興（伝統文化の調査研究を通じた芸術文化の振興）

(1) エクサドンの普及

現在、ファシリテーターは国内外に29名。2026年は2月に資格更新講習会をオンラインで実施。また、埼玉にてエクサドン講習会「しなしなとエクサドン」を開催。各地でのエクサドンの実績やニーズの高まりを踏まえ、エクサドン講師についても鼓童メンバーとの協働を模索する。

(2) アウトリーチ活動

鼓童メンバーによる国内外での公演、学校公演、ワークショップ、島内の子ども達への太鼓教室、研修生による交流学校公演など。

(3) 佐渡の文化に関する調査研究及び資料収集

- ・ 郷土芸能の調査研究と資料収集を、地域振興に向けた研究と実践へ。
- ・ 佐渡に関わる図書資料等の閲覧コーナーの設置を進める。

(4) 伝統文化・文化活動への支援

- ・ 佐渡で継承されている郷土芸能の支援、イベント等で紹介。
- ・ 鼓童メンバーに対する、芸能講座、現地訪問等の支援。



しなしなとエクサドン

4 国際交流（国際的な文化交流の場づくりと実践）

(1) 国際芸術祭「アース・セレブレーション(EC)」の実施・運営

開催期間：2026年8月21日（金）～8月23日（日）

開催内容：コンサート、フリンジ、ワークショップ、ハーバーマーケットほか

39回目となるEC。2026年はECの海外ゲストとしては初となるモンゴルから6人組民族音楽グループ「フスグトゥン(Khusugtun)」を、国内ゲストは「三宅島芸能同志会」を招聘。国の重要な建造物群保存地区に選定された小木町との連携強化、またSDGsや酷暑対策に配慮した運営を図るとともに、佐渡の観光地域づくりに寄与する形を目指す。



「アース・セレブレーション」

(2) 海外からの太鼓グループ・太鼓合宿の受け入れ

2026年も「Taiko for Peace」をはじめ、海外からの太鼓合宿等の受け入れを行う。

(3) クルーズ船の受け入れ

クルーズ船10隻への鼓童公演4回と太鼓ワークショップ16回を実施。



5 広報・ファンドレイジング

(1) 機関誌および定期発行物の内容の充実

- ・ 機関誌「季刊 鼓童」年4回（2月、5月、8月、11月）
- ・ 「鼓童文化財団 年次報告・計画書」（5月）
- ・ 「鼓童文化財団の人材育成」パンフレット（11月）

(2) 研修所支援の強化

- ・ 毎年12月に全国的に開催されている「寄付月間」に賛同パートナーとして参加。
- ・ リサイクル募金「きしゃぼん」（研修生の稽古用のバチ材の購入支援）

(3) ウェブサイト、SNSの充実による個人寄付の強化

- ・ ウェブサイトやSNSを活用し、鼓童グループの活動への支援を呼びかけ。
- ・ エクサドン、たたこ館サイトの発信・英語対応を強化。

(4) インターネットを活用した資金調達

- ・ GOEN CRM（セールスフォースを利用した非営利団体向け顧客管理システム）の活用

(5) 鼓童の会（友の会、後援会、支援会、特別支援会、賛助会、永年賛助会）

- ・ 2025年4月の会費の改定に伴い、2026年2月末まで入金無料キャンペーンを実施。
- ・ 実験的に行っていた「鼓童公演の配信動画視聴サービス」を特典に追加。
- ・ 鼓童メンバーと会員の交流イベントの開催。
- ・ 永年賛助会制度の継続的運用

(6) 法人会制度の継続及び「遺贈」寄付先団体への登録

- ・ 法人会員制度（2024年より）
- ・ 「相続・不動産サポートセンター」の連携寄付先団体に登録。



「季刊鼓童」



「鼓童文化財団」 役員・評議員

理事長	五十嵐実	税理士、日本自然環境専門学校校長
専務理事	菅野敦司	
理事	佐藤敦子	高崎経済大学 准教授
理事	船橋裕一郎	太鼓芸能集団「鼓童」代表
理事	松田祐樹	NPO法人佐渡芸能伝承機構 理事長
理事	上之山博文	(株)北前船 取締役
監事	河内秀夫	税理士
監事	堀田伸吾	弁護士
評議員	青木孝夫	(株)北前船 相談役
評議員	関原 剛	協同組合ウッドワーク 顧問
評議員	堀口智顕	サンフロンティア不動産(株) 代表取締役会長
評議員	洲崎拓郎	(株)北前船 代表取締役社長
特別顧問	島崎 信	武蔵野美術大学名誉教授
顧問	高野宏一郎	元佐渡市長

活動理念

私たちは、太鼓とともに世界をめぐる、
多様な文化や生き方が響き合う
「ひとつの地球」を目指します。



鼓童文化財団は事業活動を通じて、SDGsの達成に貢献していきたいと考えています。



鼓童グループへのご支援をお願い申し上げます。

皆様のご理解と応援が、私たちの活動継続の大きな力となっております。

ご支援の方法

① 「寄付」で応援

「寄付の用途」 研修生育成支援



鼓童文化財団研修所の運営に対するご寄付です。研修所の維持・運営を続けていくためには多くの費用がかかります。研修所の設備をより充実させるため、どうか皆さまのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

ワン・アース・ツアー支援



「ワン・アース・ツアー」は、世界各地を旅し言葉や文化の違いを越えた「共感共同体」を創りたいという願いを込めた、鼓童の表現活動の総称です。離島や山間部、人数の少ない学校など、様々な場所へ鼓童の音を届けるために使わせていただきます。

一般寄付



鼓童の舞台が「花」とすれば、「根」を張り支えているのが、鼓童文化財団です。「エクサドン」など公益性の高い事業に取り組む、鼓童文化財団の活動全般へのご寄付となります。

クレジットカード決済

鼓童サイト内のご支援お申込みフォーム(QRコードより)に必要事項をご入力ください。

※ 鼓童を継続的にご支援いただける方は、マンスリーサポーター(毎月の寄付/毎月500円～)をお選びいただければ幸いです。



ご支援
お申込みフォーム

銀行振込・郵便振替

以下のいずれかの口座にお振り込みください。(ご支援お申し込みフォームを利用いただくと、自動返信メールでもお振込先をお知らせいたします)

【銀行振込】三菱UFJ銀行 新潟支店 普通 0142468
第四北越銀行 南佐渡支店 普通 1151196
口座名: ザイ)コドウブンカザイダン

【郵便振替】00690-9-25829 (財)鼓童文化財団

ご支援お申し込みフォームで「寄付の用途」をお選びください。または郵便振替用紙の通信欄にご記入ください。(ご指定がない場合は「一般寄付」とさせていただきます)

② 「物品の提供」で応援

鼓童では、物品等のご提供によるご支援も承っております。ご支援いただける方は、品名や数量等につきまして、鼓童文化財団事務局までご連絡ください。(その時々状況により受け取れない物もございますので、ご理解いただけますと幸いです。)

③ 鼓童×きしゃぼん「どんどこリサイクル募金」で応援

あなたの宝物で研修生をご支援ください!

お客様のご不要になった物品を提供いただきますと、査定・換金され、研修生が稽古で使用するパチ材の購入支援にあてることができます。リサイクル募金1回のご参加につき、きしゃぼんの運営会社からも100円が寄付されます。



きしゃぼん



「きしゃぼん」でご支援くださる皆様には、研修生からのお礼動画をお届けしています。

きしゃぼん
(運営: 嵯峨野株式会社)

税制上の優遇措置について

当財団への寄附金や「鼓童の会」の会費は、特定公益増進法人への支援金として、確定申告により所得税等の優遇措置の対象となります。寄附金の最大40%が税金から控除されます。新潟県内にお住まいの方は、個人住民税(個人県民税)の税額控除を受けることができます。他の地域の方は、お住まいの都道府県、市区町村の税務課へお尋ねください。

※②、③は税制上の優遇措置はございません。



④ 「鼓童の会」に入会して応援



「鼓童の会」は、鼓童の活動に共感してくださる皆様と鼓童をつなぎ、活動を幅広く応援していただく会です。

年4回発行の機関誌『季刊鼓童』をお届けするほか、チケットの先行予約、鼓童公演の動画配信、会員限定プレゼントほか、年会費に応じて異なる様々な特典をご提供いたします。



鼓童の会について

鼓童文化財団

KODO CULTURAL FOUNDATION

〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田148-1 鼓童村
Tel. 0259-81-4100 Fax: 0259-86-3631
Email: zaidan@kodo.or.jp
www.kodo.or.jp

「公益財団法人鼓童文化財団 年次報告・計画書 2025-2026」

発行責任者: 五十嵐実

編集責任者: 本間康子

デザイン: どんぶらこ design

写真: 岡本隆史、宮川舞子、Alcide Guillory III、米谷友宏、鼓童